

☆重点テーマ 市町村連携・人口減少対策の推進

- ☆市町村連携による地域課題の解決：
人口減少等の諸課題の解決に向けて、施策を検討・立案する「最上地域政策研究所」の運営
- ☆若者の定着・医療従事者確保対策：
地域企業・職業の魅力発信による地元就職・U・I・Jターンの促進、医療従事者の確保・育成及び定着
- ☆再生可能エネルギー利活用による地域の活性化：
豊かな地域資源である木質バイオマス利活用を中心とした地域活性化・雇用の創出
- ☆農業等地域型産業の技術力・収益力の強化：
収益性の高い作物の産地化・6次産業による付加価値化、中小企業の技術力向上・人材育成に対する支援
- ☆女性人材の社会参画・地域活動の支援：
積極的に社会参画し地域活動に取り組む女性人材の発掘・発信、女性の更なる活躍に対する支援

1 農業ブランド大国「最上」のくにづくり

- 最上地域高収益型農業推進事業 3,163千円**
◇競争力の高い「最上野菜王国」の創出と「最上山菜王国」の推進
◇地域特性を活かした最上ブランドの形成 ◇有機の里「最上」の推進と多様な担い手の育成
- 最上地域資源活用6次産業化推進事業 811千円**
◇他産業と連携した振興策の推進

2 人と技術が活きる「最上」の産業づくり

- 最上地域再生可能エネルギー導入促進事業 4,127千円**
◇地域特性に応じた再生可能エネルギー導入促進 ◇「やまがた森林ノミクス」による地域活性化の推進
- 最上地域内企業等飛躍支援事業 2,535千円**
◇地域内企業の強みや地域資源を活かした産業の振興
- 日本のふるさと「最上」推進事業 2,734千円**
◇観光交流の拡大に向けた取組みの推進

3 安全・安心を支え交流・連携を推進する「最上」の基盤づくり

- 安全安心を支え交流連携を推進する基盤づくり事業 853千円**
◇高速道十字連携軸の整備促進と道路ネットワークの強化 ◇災害時の対応力強化

4 住民がいきいきと暮らせる「最上」の地域づくり

- 住民がいきいきと暮らせる地域づくり事業 3,192千円**
◇子育てや結婚を地域で支える環境づくり ◇多様な能力を発揮できる社会の形成
◇心身ともに健康に暮らせる地域づくり ◇地域づくり活動の促進と人づくり

市町村連携と人口減少対策

- 市町村連携による「最上地域政策研究所」の運営 1,931千円
- 人材育成及び地域定着、医療従事者確保による人口減少対策 833千円（再掲）

最上地域の
発展方向

森と里山の文化が息づく暮らしの豊かさ
厚みのある産業が織り成すエコポリス「最上」の創造

T P P 対策予算



1ha以上の大区画圃場と工事中的の新庄古口道路（津谷地区）

最上総合支庁管内農業農村整備事業関係平成27年度補正予算

H28.2月現在 単位：千円

事業名	地区名	H27補正	H27ゼロ国債	計
経営体育成基盤整備事業	小松原田	210,000		210,000
	烏川赤松	220,000		220,000
	赤松通り	50,000		50,000
	宇津森	460,000		460,000
	戸沢	607,984		607,984
	小計	1,547,984		1,547,984
用排水施設整備事業	赤松3期		100,000	100,000
	小計		100,000	100,000
地すべり対策事業	戸沢	32,500	30,000	62,500
	滝の沢第四	40,000		40,000
	小計	72,500	30,000	102,500
	計	1,620,484	130,000	1,750,484

T P Pについてはその先行きは不確定です。

アメリカ大統領選挙の候補予定者は反対論者が多いのは選挙戦を意識しての事です。

より重要な事は日本は今後かなりのペースで人口減少が進み国内消費はさらに減少します。その中で農産物の価格をいかに維持していくか？販路は国内ばかりで良いのか？等々問題が浮き上がって来ます。生産体制、販売戦略が相まってこそ農家が力を発揮出来ます。

27年度の補正予算では土地改良事業が進展しますが、他にも強く要望されていたJA山形もがみのトマト、野菜等の集出荷施設整備予算約3億円が産地パワーアップ事業で採択されております。

